

高等学校第3学年 地理歴史科 学習指導案

期 日 平成23年10月19日(水) 第6限目

場 所 県立宇土高等学校 総合Ⅲ教室

指導者 教諭 荒巻 智弘

1 単元名

地域区分でとらえる現代世界 2 地域区分でとらえるアフリカ (新詳地理 B 帝国書院)

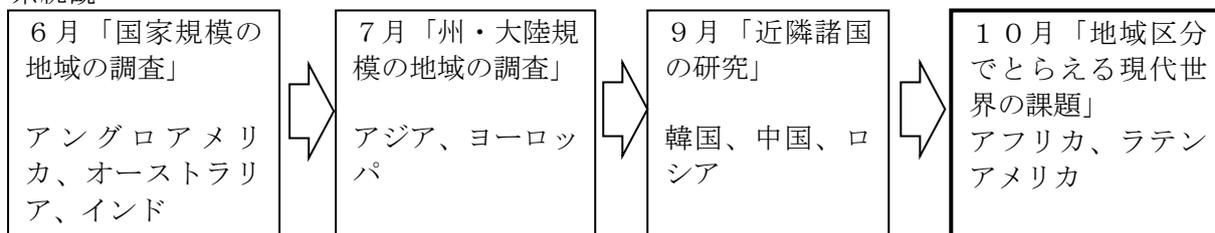
2 単元について

(1) 単元観

本単元は、「地誌分野」について学習する中の、アフリカ、ラテンアメリカの分野であり、区分を通して得られる情報を的確に把握する能力を養うことをねらいとしている。地図の読図を通して地域の特徴をつかみ、現在その地域がおかれている現状と課題について考察することを目標としている。

アフリカやラテンアメリカの地域を区分することで、特徴を明らかにするとともにそれぞれの地域の課題を把握し、それらの課題について考えるように単元が構成されている。

(2) 系統観



使用教科書における地誌的学習についての単元構成は次のとおりである。まず、動態地誌的内容として「国家規模の地域の調査」でアングロアメリカ、オーストラリア、インドにおける農業・工業等の項目ごとの諸特徴をつかむ学習から導入される。次の「州・大陸規模の地域の調査」では、その学習対象をアジア、ヨーロッパの規模に広げ、その広がりの中にあるいくつかの地域の特徴的な事象について学習する。これらの学習を踏まえ「近隣諸国の研究」では、韓国、中国、ロシアと我が国とを比較し、その共通性や異質性に着目してそれぞれの国の産業や生活・文化について追究していく。本単元は、地誌学習のまとめとして動態地誌的な視点から、アフリカにおける人種の分布、ラテンアメリカにおける人口の分布とその地理的分布を関係させながら、それぞれの地域が抱える諸問題について考察する学習を行う。

(3) 生徒観 (男子7人、女子8人、計15人)

- 該当クラスは、私立大学および専門学校への進学を主に希望する「文Ⅰ」コースの生徒である。少人数クラスであるため、授業中は、生徒の発言の時間を確保しやすく、各自の学習状況を確認しやすい。
- 地理が進学のための受験科目ではない生徒も約3割存在し、学習そのものに苦手意識を感じている生徒もいるが、興味・関心が高く、理解力が高い生徒も数名おり、個人差がある。そのために授業の定着度・理解度に生徒間の差が生じないように、知識偏重ではなく幅広い視野を身につけられるような授業展開になるよう工夫する必要がある。

(4) 指導観

- 授業中、必要に応じて自由なディスカッションができるよう席の配置を工夫し、学習内容への興味・関心を高め、思考を深めるようにする。
- 2年次より行っている地図帳への書き込みという活動をさらに継続し、資料活用の技能・表現を高め、各地域への知識・理解を深める。
- 視聴覚機器や図表中の写真などの映像を有効に使うことで関心を高め、効果的な課題を提示することにより、思考・判断を高めていきたい。
- 本時では、「ハゲワシと少女」の写真を用い、アフリカの課題の重大さに気付き、自分なりの考えを基に意見交換することを通して世界の中の日本人としての自覚が持てるようにする。
- 一つの情報がさまざまな意見を生み、世界に大きな影響を与えたことを理解し、物事を多面的に捉えることの重要さと、意見を述べる難しさに気付けるようにする。

Bプロジェクト 学習評価と指導の改善の視点から

- 道徳教育の視点として「道徳的価値の理解」「自分とのかかわり」「自己実現への意志」を設定し、それぞれの視点に沿って具体的な生徒の姿を想定した評価規準を設定し、生徒の反応を見取ることができるようにする。本時では、主に「自分とのかかわり」「自己実現への意志」を持って考えているかどうかを重視する。
- 「自分とのかかわり」を持って考えているかを見取るために、提示された写真を見て感じたことや写真が公開されたことについて自分なりの考えを書く活動や意見交換する等の言語活動を設ける。
- 生徒の主体的な学習活動を促し、その際の活動の様子、発言、ワークシートに書かれた内容等によって生徒の反応を見取るようにし、できるだけ肯定的な評価を行うようにする。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	地域区分でとらえる現代世界の課題について、アフリカやラテンアメリカを例にその課題を考察する。
関心・意欲・態度	①現代世界について関心を高め、意欲的に取り組むとともに、地域区分から自分なりの考えを持とうとしている。
思考・判断	①地域区分でとらえる現代世界に関する地理的事象からアフリカやラテンアメリカの具体的な課題を設定し、学ぶとともに、地域区分してとらえることの有用性を考察している。
技能・表現	①環境、人口、食料、都市問題などの地球的課題に関する地図や統計などの資料を比較したり、関連させたりして、関係を明らかにしている。 ②地域区分でとらえた各地域の資料を地図帳記入などにより活用する技能を身に付けている。
知識・理解	①アフリカ・ラテンアメリカの課題を理解するとともに、地域区分してとらえることの有用性を理解し、それらの知識を身に付けている。

4 指導・評価の計画（9時間取扱い 本時6／9）

時	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価 基 準
1	地域区分の目的 地域区分の意義	・地域区分の学習の導入となるよう心掛ける。 ・地域区分の意味と利点についての生徒の気付きや発見を大切に、本単元の学習についての興味・関心を高めるようにする。	知識・理解① 地域区分の意味と利点について理解し、その見方が分かる。 関心・意欲・態度① 地域区分の意味や利点について自分なりの考えを持とうとしている。
2	貧困の指標	・複数の指標によって表されたアフリカの地図から、中南アフリカの貧困について気付かせる。	知識・理解① 異なった指標から提示された資料から法則性に気付く。
3	アフリカの地域区分	・複数の地図から、北アフリカ・中南アフリカ・南アフリカ共和国に分けられることを理解させる。	技能・表現① 資料からアフリカは三つの地域に区分してとらえることができる。
4	地域による産業の違い	・図表から産業構造の特徴と、国の経済状況を比べさせることにより課題を考えさせる。	思考・判断① 図表からアフリカの産業について考え、モノカルチャーの問題点について自分なりの考えをまとめている。
5	植民地支配の影響	・地図帳と統計要覧を活用し、フランスが西アフリカ、イギリスが東アフリカを統治していたことを確認させる。	技能・表現① 資料を根拠にして、アフリカの植民地の支配の影響を説明している。

6 本 時	アフリカの抱える課題	・アフリカの課題について自分なりの考えを持ち、他の生徒の意見を取り入れ多面的なものの見方を身につける。	思考・判断① アフリカの課題について自分なりの考えを持ち、他の生徒の意見を取り入れ多面的なものの見方を身につけている。
7	ラテンアメリカの地域区分	・複数の指標によって表されたラテンアメリカの地図から、ラテンアメリカの地域区分に気付かせる。	技能・表現① 資料からラテンアメリカは三つの地域に区分してとらえることができる。
8	ラテンアメリカの三つの地域	・歴史的背景や土地利用の特色などからラテンアメリカの三つの地域の特徴を理解させる。	知識・理解① ラテンアメリカの三つの地域の特徴を理解している。
9	課題を抱えるラテンアメリカ	・地図や統計資料などを基に、ラテンアメリカの課題について自分なりの考えを持って意見交換することを通して、自分の考えを深めている。	思考・判断① ラテンアメリカの課題を自分なりに捉え、考えを深めている。 関心・意欲・態度① 課題解決のための意見を自由に交換している。

6 本時の学習

(1) 目標

○地図帳および授業プリントでアフリカの地域紛争の代表的な例をおさえ、紛争の背景を理解する。

(知識・理解①)

○アフリカの課題について自分なりの考えを持ち、他の生徒の意見を取り入れ多面的なものの見方を身につける。

(思考・判断①)

○提示された写真から様々な情報を得て、自分なりの考えを持つようとしている。(関心・意欲・態度①)

(2) 道徳教育の視点

○世界の中の日本人としての自覚を持ち国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようという思いを持つ。

【道徳的価値の理解】

○「ハゲワシと少女」の写真を見て、アフリカの課題の重大さや、報道のあり方についての自分の考えを表現することを通して現在の自分または日本の生活について考えを持つ。

【自分とのかかわり】

○様々な情報をいかに取捨選択し、様々な環境の中で自分がいかに生きていくかということについての考えを持つ。

【自己実現への意志】

(3) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示等	指導上の留意点	備考
導入 10分	1 前時の復習および本時の課題を確認する。 2 アフリカにおける地域紛争について考える。 (1) 自分なりの考えをもつ。【個人】	○地域紛争について考えてみよう。 ○豊かさとは何だろう。 ○紛争が起こる理由はなぜでしょうか。	○前時の植民地支配との関連を意識させる。 ○提示した写真から自由な発想が出るよう促す。生徒が意欲的に発言しているかどうかを評価する。 ○前時までの地誌学習が理解できているかどうか確認する。	図表 アフリカの家族の写真 地図帳

<p>展開 30分</p>	<p>(2) 互いの考えを交流する。【グループ→一斉】 3 それぞれの民族問題を学ぶ。 ・コンゴ動乱 ・ソマリア紛争 ・スーダン南部紛争</p> <p>(1) 自分なりの考えをもつ。【個人】 (2) 互いの考えを交流する。【グループ→全】 (3) 交流した意見を発表する。【グループ→全】</p> <p>・ルワンダ内戦 ・ビアフラ戦争</p>	<p>○地図帳と図表を有効的に使いながら、紛争の背景には、資源問題・宗教問題・民族問題・宗主国の分割統治の目的などが絡んでいることを理解させる。</p> <p>○この写真は何でしょう。 ○この写真から何を感じますか。 ○このあと女の子はどうなったでしょうか。 ○この写真はどのような評価を受けたでしょうか。</p>	<p>○図表や地図帳を活用して、民族問題について考えさせるようにする。</p> <p>○地図帳への記入と図表またはスライドで確認させる。 【道徳教育の視点：自分のかかわり】 ○写真を見た印象を出させた後、この写真の作者や背景について簡単に説明する。 ○写真から受ける印象を多面的にとらえるよう指導する。またこの写真が与えた世界への影響を考えさせ、発表させる。 ○一つの写真に対して様々な意見があることを確認する。 ○写真を通して、一つの情報から多面的に物事を考えていくことの重要性を伝える。 ○それぞれの意見を共有化させる。 ○ルワンダ内戦とナイジェリアの紛争は、入試においても重要事項であるため、相関関係を明示しながら丁寧に行う。(時間の都合上次時に行う場合もある) 【道徳教育の視点：道徳的価値の理解】 ○ルワンダ紛争の現在の様子を伝え、紛争が残した影響について考えさせる。</p>	<p>教科書 地図帳 プリント</p> <p>プリント 図表 地図帳 写真「ハゲワシと少女」。 図表 地図帳</p> <p>図表 スライド 地図帳</p>
<p>整理 10分</p>	<p>4 本時の学習の内容の確認。</p>		<p>【道徳教育の視点：自己実現への意志】 ○紛争解決のために必要なことは何か考える。 ○感想をまとめる。</p>	<p>冒頭に提示していたチャイルドソルジャーの写真</p>